市議会会派：市民クラブ発行（無所属）
八王子市松木 32-1　電 話 042-689-6312　　FAX 042-689-6317
E-mail ： info@hoshino-naomi.com URL:http://hoshino-naomi.com

市政報告書
第 37 号

挑戦・実現・成長

八王子市議会議員 ４期
無所属 ほしの 直美

☆１９６８年生まれ　鷗友学園女子高等学校卒業　松木在住
☆東京理科大学大学院修士修了（工学修士）
☆日本家族社会学会所属
　研究テーマ：ワーク・ライフ・バランス
☆趣味：読書・ピアノ・ゴルフ・テニス(観賞)・犬好き
☆職歴：約 22 年の会社員生活を送る。
　日立系企業で PC・CAD インストラクターを経て、橋梁設計事務所にて高速道路設計業務に携わる。現在、衛生検査所取締役
☆所属委員会：総務企画委員会委員
　研究テーマ：「多様なつながりから育む持続可能な地域づくりの推進」
☆多摩ニュータウン環境組合議会委員　☆保健所運営会議委員

初宿 新市長 所信表明に対する代表質問(要旨)

新市長の所信表明における「三方よし」を基本とした経営理念とは、自分の事よりもお客様のことを考え、それを社会貢献に繋げようとする教えと理解しています。この考えは、「まずは自分でやってみる」ことが大事で、自己中心的な考えにとらわれず、相手のため、皆のためを思ってとった行動は、必ずや社会を明るく幸せなものにしていく。そして、その理念こそが、行政にスピード感をもたらし、市民や団体が主体的に取り組む仕組みを生み、社会への影響に配慮した政策展開を実現するものと考えます。

所信表明では、『東京都では近年の社会情勢の変化等を踏まえた、多摩ニュータウンのあり方を検討している。地元自治体として、多摩ニュータウンの将来像を見据え、東京都などの関係機関と連携しながら、まちづくりを推進する』とありましたが、ニュータウン再生には、本市自らが主体的に、企業や大学に働きかける能動的な連携が欠かせないと考えています。自治体が積極的に企業や大学と連携し、ビッグデータを活用した、持続可能なまちづくりを進めることは『まち』そのものの価値を高めることになると思います。

また、日本を代表するような大手企業があり、全国有数の学園都市である本市は、子どもたちが明るい未来を描くための、恵まれた環境が整っています。専門的に学べる機関が集積しており、連携することで、世界で活躍する子どもたちの姿が想像できます。本年度からは、これまで繰り返し提案してきた「八王子版 STEAM 教育※」が導入されます。恵まれた環境を活かした教育を行うことで、八王子市が教育で選ばれる『まち』になれることも期待できます。

人口減少社会の中、今後の社会で重要となるのは言うまでもなく「人」です。八王子から世界に羽ばたく人材育成に繋がる施策を提案し、実現できるよう全力で取組んで参ります。

※STEAM 教育とは、
科学（Science）・技術（Technology）・工学（Engineering）・芸術（Arts）・数学（Mathematics）の頭文字を組み合わせた造語で、これからの AI 時代を「自らつくっていく力」を育む教育のこと。

歳入におきまして、国の定額減税などにより市税が 29 億円減の 901 億 5000 万円を見込む一方で、その補填としての地方特例交付金を確実に予算計上し、普通交付税、臨時財政対策債については、抑制的に見込むなどメリハリの効いたものとなっています。そのうち、市税収入率は現年課税分では 99.7%を見込んでいます。引き続き、公平公正な徴収に向けた努力のもと、市民との信頼関係の継続が必要です。しかし、このことは、課税額を上昇させなければ、市税収入額を増やすことはできない水準となっていることも示しています。持続可能な行財政運営を実現するためには、企業誘致や観光客誘致などの歳入面での努力だけでなく、歳出面での抜本的な見直しも必要となります。歳入歳出両面において、バランスのとれた施策となるよう今後もチェックをして参ります。

行政運営には「ひと・もの・かね」が必要です。「未来の主役づくり」の要である「人」について、「最後の砦」となる市職員の人材確保と育成が急務です。大企業でも就職後 3 年以内に 4 人に 1 人が辞める時代です。本市には人材確保と人材育成を同時に進めることができる、他市にはない財産として、多くの学校が集積しています。これからも『真の学園都市』の優位性を実感できるような取組を支援します。

予算委員会総括質疑 3 月 11 日

公共施設については、社会ニーズや人口構成の変化により、施設の統廃合や用途変更が、一部の所管で進められていますが、全市的な取り組みを行う必要があります。人口動態を把握し、デジタル技術や AI を活用すれば、必要となるサービスをどの場所にどのくらい配置すべきか、速やかに、市民へ示すことができるはずです。様々な利害関係があるとは思いますが、エビデンスに乏しく、効果の期待できない事業は終期を定め、歳出や補助金と同様に、抜本的な見直しに着手しなければならない時期がやってきているのではないでしょうか。『行革は今ある資源を未来に残す最良の手段』です。新たな施設を作るのであれば、既存施設を見直すべきです。物価上昇やゼロ金利政策の終焉が現実のものになります。既成概念にとらわれず、迅速な行政改革を促します。

金について。今予算審議で初めて、歳出と税収の差を表し、財政の危機的状況を表す「ワニの口」の表現が使われました。八王子市は、まだ喉に近い部分ではあるものの、財政調整基金の 40 億円をはじめ、58 億円の基金を取り崩し、令和６年度予算は過去最高の 2,272 億円の一般財源を確保しました。

これまで必死に取り組んできた行財政改革により、基金残高は一定の水準を確保していますが、このスキームを永遠に続けられる訳ではありません。『行革は今ある資源を未来に残す最良の手段』です。過去の財産を消費していくのではなく、過去よしを現在よしにつなげ、未来よしを目指した市政運営を行うことが、私たち市民の幸せにつながると考えます。

裏金問題の全容解明と再発防止に向けた抜本的対策を求める意見書（賛成少数）

自民党内の一部派閥の政治資金問題が深刻化しており、未記載の収入は 17 億円以上とあると言われ、政治と金の問題が政治不信を高め、怒りが爆発しています。国民が怒っているのは、受け取った資金を政治資金収支報告書に記載しなかったことだけでなく、巨額の資金を受け取りながら、税務申告をせず、税を払っていないことでしょう。政治資金というだけで課税を免れているのは不公平と考え、本意見書に『賛成』しました。

燃料油価格高騰への対処を求める意見書（反対多数）

本意見書の、①燃料費高騰は物価上昇の主要因であり、政府は燃料価格激変緩和対策事業を実施しているが、制度上、補助金による事業者の中抜きが起こらないようにすることには『賛成』。一方、②再生可能エネルギー導入促進による電気自動車への買い替えインセンティブの充実について、高い車体価格、バッテリー寿命、航続距離や災害時も不安があるのと同時に、太陽光パネル設置による自然環境への影響についての検討、土地取得や盛土に関する法整備も必要と考え、本意見書に『反対』しました。